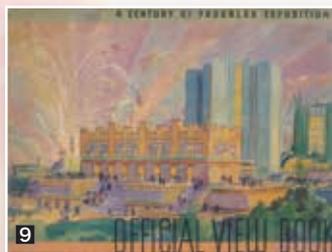
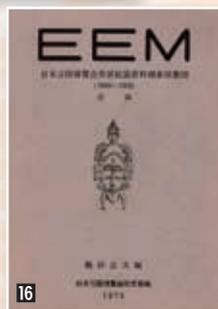


令和2年度  
(2020年度)  
秋季特別展

# 万国博覧会

“人類の進歩と調和”に至るまで

World Exposition



1 医学館薬品会(小田切春江画、尾張名所図会 前編、1844年) 2 第1回ロンドン万博 クリスタルパレス銅版画(1851年) 3 第2回ロンドン万博 開会式での文久遣欧使節団(1862年) 4 第2回ロンドン万博 日本文化展示の立体写真(1862年) 5 第2回パリ万博 清水卯三郎の茶店(1867年) 6 湯島聖堂博覧会 古今珍物集覧元昌平坂聖堂ニ於テ 三枚続(1872年) 7 ウィーン万博 日本品所(1873年) 8 日英博覧会 世界一周双六(1910年) 9 シカゴ万博 公式冊子(1933年) 10 紀元2600年記念日本万国博覧会 冊子(1940年) 11 プリュッセル万博 褒賞メダル(1958年) 12 プリュッセル万博 コンゴ人少女のパスポート(1958年) 13 プリュッセル万博 絵葉書(1958年) 14 モントリオール万博 日本館絵葉書(1967年) 15 大阪万博 テーマ館完成イメージ図絵葉書(1960年代後半) 16 日本万国博覧会世界民族資料調査収集团(EEM)報告書の表紙(1973年) 17 反戦万国博覧会 ガリ版冊子(1969年)

会期

令和2年(2020年)

10月3日(土)~11月29日(日)

場所

吹田市立博物館  
3階特別展示室

- 開館時間：午前10時~午後5時 \*感染により重症化しやすい方々の入館時間を分けています。
- 休館日：11月23日(月・祝)以外の月曜日、祝日の翌日
- 観覧料：大人 200円、高校・大学生 100円、小中学生 50円  
\*市内在住の65歳以上の方は 100円。\*市内在住で障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。  
\*市内の小中学生は「ぐるっとすいた」カードを持参するか、土曜日に来館する場合は無料。  
11月14日(土)・15日(日)(国際博物館の日及び関西文化の日)は観覧料無料。
- 特別協力：北大阪ミュージアム・ネットワーク

★万博展のバーチャル特別展示室を当館HPに開設!  
★展示期間中の土・日・祝日は景品付きのクイズラリーを実施!

吹田市立博物館  
SUITA CITY MUSEUM

〒564-0001 吹田市岸部北4丁目10番1号 TEL 06-6338-5500 FAX 06-6338-9886  
URL : <http://www2.suita.ed.jp/hak/>



■入館制限などがありますので、必ず博物館ホームページ又は電話でご確認ください。  
■新型コロナウイルス感染拡大防止のために展示が中止になることもあります。最新情報は博物館ホームページ又は電話でご確認ください。

令和2年度  
(2020年度)  
秋季特別展

World Exposition

# 万国博覧会

人類の進歩と調和に至るまで

会期

令和2年(2020年) 10月3日(土)~11月29日(日)

場所

吹田市立博物館 3階特別展示室

1960年代半ば、1970年に開催されることになる日本万国博覧会(大阪万博)を経済論理だけでなく、文明の祭典として意味あるものにしようと話し合い、その具体案を“勝手に”調べ、議論した男たちがいました。自主研究会「万国博を考える会」のメンバー、民族学者・文明学者の梅棹忠夫、SF作家の小松左京、社会学者の加藤秀俊らです。実はこの「考える会」は、かの有名な「人類の進歩と調和」という大阪万博のテーマを生み出す元となった基本理念の草案を考えたい黒衣でした。この基本理念のなかで「考える会」は、それまでの「人類の不調和を伴う進歩」から脱却し、「人類の多様な知恵を使った調和的進歩」へ転回することが必要であると主張しました。つまり、地球上の人類のあらゆる「知恵の存在」を、調和的進歩を果たすために重要なものだと位置付けたのです。

本特別展では、万博においてテーマというものが重視されるようになった過程を主に時系列で辿ります。大阪万博前史として、第2回ロンドン万博(1862年)やウィーン万博(1873年)などのほか、人類が直面する核の脅威や公害などの課題解決をめざす一方で、ベルギー領コンゴの人々を見世物的に「展示」して批判を浴びたブリュッセル万博(1958年)などを紹介することを通して、万博がテーマを重視するに至った歴史を振り返ります。

10月3日(土)以降、順次以下の講演動画を当館HPにて公開します。(申込不要、視聴料無料)

## オンライン講演会

- 「わたしの万博体験をふりかえって」 石毛直道氏(国立民族学博物館 名誉教授・元館長)
- 「21世紀の万博における開催テーマと日本館の展示」 岡田朋之氏(関西大学 教授)
- 「70年万博・大阪日本民芸館——調和的進歩を魅せる空間として」  
長井 誠氏(大阪日本民芸館 元常務理事)
- 「博覧会の記憶と大阪——第五回内国博からEXPO'70まで」 橋爪節也氏(大阪大学 教授)
- 「『私たちは今ここに生きている』  
——'70年万博で描いた50年後の夢の生活環境から'25年万博にみる未来に向けて」  
藤本英子氏(京都市立芸術大学 教授)
- 「'70大阪万博から'25大阪・関西万博へ」 吉田憲司氏(国立民族学博物館 館長)
- 「1970年万博ブルガリア館——異文化との出会いとその展開」  
ヨトヴァ・マリア氏(立命館大学 准教授)

## オンライン歴史講座

- 「2010年の上海万博——テーマ『より良い都市、より良い生活』をめぐる」  
中牧弘允(当館 特別館長)
- 「現代万博のテーマの変遷」  
五月女賢司(当館 学芸員)

11月1日(日)以降、以下のシンポジウム動画を当館HPにて公開します。(申込不要、視聴料無料)

## オンライン・シンポジウム

- 在留外国人シンポジウム  
「果たして調和的社會は実現できたのか  
——多文化共生社會のゆくえ」

### 交通案内

JR岸辺駅下車北口から徒歩20分。

●JR吹田駅北口・阪急吹田駅から…千里中央ゆきバス「紫金山公園前」下車徒歩4分。五月が丘南ゆきバス(循環)「五月が丘西」下車徒歩7分。桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分。●JR吹田駅中央口から…桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分。●阪急南千里駅から…JR吹田ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分。

●お車の場合は、五月が丘方面からお回りください。(吉志部神社側からは車は進入できません。)



このチラシは、12,000枚作成し、1部あたりの単価は6.8円です。